

公民館訪問NEWS

南会津町教育委員会分室(館岩) ～夏休みたていわ3感がっこう～

8月7日(月)、南会津町教育委員会分室で行っている夏休みたていわ3感がっこうを訪問しました。3感がっこうは、館岩小学校児童を対象に、様々な体験活動を行う事業です。地域の方も講師を務めます。7月21日の開校式から8月24日の閉校式まで、夏休み中の平日ほぼ毎日、学童とも連携しながら26名の児童が参加しているそうです。

訪問した日は、南会津町役場に勤める室井一仁さんをお迎えし、創作浄瑠璃の鑑賞会を行っていました。



浄瑠璃とは

三味線に合わせて、詞章を語る劇場音楽です。
当日行っていただいた「創作浄瑠璃」は、昔話や民話、土地に伝わる話等を浄瑠璃風にアレンジしたものだそうです。

<参加した子供たちの感想>

- ・喜怒哀楽が三味線や語りで表現されていた。
- ・迫力があってすごい。
- ・イメージと違って面白かった。
- ・想像していた桃太郎と違った。
- ・サルの声がおもしろかった。
- ・鬼の声が大きくて、顔も真っ赤になっていて面白かった。
- ・三味線より大きな声ですごい。

<社会教育指導員 星さん>

3感がっこうでは、「体感・感動・感謝」の3つの感を大切にしています。
浄瑠璃と聞くと難しそうですが、古典に触れることで、心に響くこともあると思います。今わからなくても、将来、何かにつながることを願っています。



<講師 室井一仁さん>

室井さんは、浄瑠璃の中でも400年ほど前に大阪で生まれた義太夫節という流派を得意とされています。
小学校6年生の頃に参加していた子供歌舞伎での出会いが浄瑠璃を始めたきっかけとのことでした。
県外でも公演されるなど、幅広く活躍されています。



皆さん(子供たち)の感想から、新しい気づきや発見があったことが伝わってきました。
身の回りのことにも、様々な気づきや発見があります。
3感がっこうでする1つ1つの体験から、たくさんのことを学んでほしいです。

室井さんの話を興味津々で聞き子供たちの様子が印象的でした。室井さんに聞いてみると3感がっこうに携わるのは10回目とのこと。さすが子供たちとの関わり方も上手で、語りからどんな人が話しているかを想像させたり、体験を入れたり、楽しく時間が過ぎました。

また、創作浄瑠璃では、「桃太郎」をアレンジしたものを披露していただきました。「おむすびころりん」や「ごんぎつね」など、レパートリーもたくさんあるそうです。誰でも知っている話は、子供たちの興味関心の高まりにもつながります。今後は、小学校でも披露してみたいとのことでした。

室井さんの年齢は30代半ば。その若さに驚きました。地域には、(特に、若い人の中に)こういった素晴らしい特技をもった人材が、まだまだたくさんいらっしゃると思います。人材を発掘し、講師として活躍していただいたり、グループづくりの中心になっていただいたりすると、生涯学習も充実するのではないのでしょうか。